

(個人)

(報告 田 中)

丹後山 (1, 809m)、大水上山 (1, 831m)、兎岳 (1, 926m)

【日 時】 24年8月25日～26日 (土・日)

【メンバー】 田 中 (計1名)

【行動記録】

①大宮 (2時) - 十字峡 (5時15分) ⇒ 登山口 (5時49分) ⇒ 五合 (9時) ⇒ 丹後山非難小屋 (10時35分 - 11時23分) ⇒ 大水上山 (12時) ⇒ 兎岳 (12時35分) ⇒ 非難小屋 (13時50分 - ②5時57分) ⇒ 五合 (7時) ⇒ 丹後山登山口 (9時32分) ⇒ 十字峡 (10時10分)

1日目 7時間22分 2日目 3時間36分

【装備・食料等】 《個人》 携帯電話、ヘッドランプ、雨具、コンパス、地図、救急薬、食事4食、水、行動食、シュラフ一式、ツェルト

【感想】

三国川ダムを過ぎ、十字峡トンネルを抜けると、その先が通行止めとなっていて、川淵に6、7台の駐車場がある。明るくなってきたので出発する。栃の木登山口からいきなりの急登が一合まで続く。二合を過ぎたあたりから、左手に中ノ岳が見え始める。谷間に雪渓を残し、青空の下、非常に存在感のある魅力的な山だが、今回の山行には入れていない。一合ごとに石柱を立てられていて、確実に山頂に近づいていることは、確認できるが、蒸し暑さの中、かなり長い行程にうんざりする。やがて、笹原に出ると360度の展望に変わる。八合を過ぎて、マムシを見た。登山道の脇の草むらに潜んでいたのも、足でドンドン音を立て姿が見えなくなってから通行した。丹後山の非難小屋に着き、荷物を置き、サブザックで、大水上山までピストンすることにした。丹後山、大水上山の山頂は少し物足りなかったのも、兎岳まで足を延ばした。この日の非難小屋泊りは40代の男性と二人だけだった。広々とした小屋の中で、山の話に花が咲いた。私の持ってきた水は、2日間ぎりぎりの量で、大事に飲んできたが、この男性が小屋の外にある天水のポリタンクの水を私の分まで沸かしてくれたので、その後の水の心配がなくなった。

